

平成29年度 MH年次大会 プログラム

開催日：平成30年2月20日（火）

基調講演 株式会社日通総合研究所

13:30～14:30

『物流業界における労働力不足の状況とその対策に向けた取り組み』

－ドライバーの生産性向上に貢献する「ろじたん（ドライバー用）」－

発表者：Research & Contents Unit Unit Leader 大島 弘明 氏

Advanced Technology Unit Unit Leader 井上 浩志 氏

内 容：物流業界ではトラックドライバーを中心に労働力不足が顕著となっている。運送業界におけるトラックドライバー不足の状況と今後の見通し、また、その背景にある物流業界の課題や問題の解決に向けた取り組みなどについて調査・研究した結果を報告する。また、トラックドライバーの業務内容を簡単に把握でき、生産性の向上に貢献するシステムとして開発を進めている「ろじたん（ドライバー用）」をご紹介します。

事例発表① 西部電機株式会社

14:40～15:10

『ロボティクス・マテハン® の開発と

コンパクトロボットソリューション「コンテナ積み下ろしロボットシステム」導入事例』

発表者：マテハン事業部営業部 事業企画担当部長 吉田 千春 氏

内 容：①西部電機(株)が推進する、ロボティクス・マテハン®と同コンセプトに基づく開発動向
②一昨年発表し、昨年導入されたオリコン積み降ろしロボットシステムの事例と効果
③同じく一昨年発表した出荷ラベル貼付ロボットの導入背景、事例と効果、また今後の方向性
以上3点を中心にご紹介する。

休憩時間 15:15～15:25

事例発表② 株式会社豊田自動織機

15:25～15:55

『トヨタL&Fの物流ソリューション』

発表者：物流ソリューション事業室 物流エンジニアリング部

室長 熊倉 孝氏・ 主査 阿曾 操氏

内 容：物流現場の省力化・省人化に貢献するトヨタL&Fの物流ソリューションを、お客様での導入事例を通じてご紹介する。あわせてモデルチェンジを行った新型自動運転リーチ式フォークリフト「Rinova」AGFをご紹介します。

事例発表③ 株式会社オムニ

16:00～16:30

『物流センターマテハン設備の保守点検とリニューアルの重要性』

発表者：LSC事業部 コンサルタント 馬場 聡氏

内 容：物流センターにおけるBCP対策として、「安定的に製商品を提供できる環境」を整備する必要がある。故障などによるマテハン設備の稼働率低下は、事業経営そのものを揺るがす事態になりかねない。そのリスクを最小限に抑えるためには、保守点検業務を十分に実施した上で、適切なタイミングでリニューアルを実行することが重要である。実際にご支援させて頂いている企業様の予防保全への取り組みと、先進的な改修事例を合わせてご紹介する。

全体質問・名刺交換 16:35～17:00

主催：日本マテリアル・ハンドリング(MH)協会 共催：日本包装技術協会